



■発行／都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
■編集／地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
■ホームページ／<http://www.miyakokai.or.jp/>
■お問い合わせ／info@miyakokai.or.jp

理念

- 患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
- 医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
- 職員の質の向上をはかります

今月のご長寿様



田島 千代子様 100歳
生年月日 大正5年 11月13日生

新年あけましておめでとーございます。
今年(丁酉)は丁酉(ひのと)の60干支の34番目です。
兜町界隈には次のような言い伝えがあるそうです。「辰巳天井、午尻下がり、未辛抱、申酉騒ぐ、戌笑ひ、亥固まる、子は繁栄、丑躰き、寅千里を走り、卯跳ねる」
昨年は申年、S.M.A.P、トラップ現象に象徴されるようにまさに騒々しい1年だったように思います。この言い伝えが正しければ今年も騒がしい1年になるのではと、少し危惧の念を持つのは私ばかりではないと思います。
さて酉(ユウ)を鶏に関連づけたのは古代中国戦国時代の話です。元々酉は酒の部首になっているように、お酒を入れる容器を表す象形文字でした。それが十二支の10番目に充てられていた訳ですが、「元々」「子」「亥」は単なる十二支の呼び名だったので、文字を読めない民に、何とか分かって貰うため身近な動物に例えて話す動物競争伝説を考えだしたそうです。犬猿の仲である猿と犬の仲裁をしたために9番目の猿と11番目の犬の間に10番目の鶏が入ったということだそうです。
日本の人口の7.5%、約952万人が酉年です。これは日本人の十二支の中では一番少ない人口です。当法人の職員の6.6%、12人が酉年です。一番若い酉年職員で24歳、一番高齢酉年職員が60歳です。また在宅に訪問させて頂いている患者さんの5.7%、19人が酉年でした。最高齢の酉年さんが96歳で12人おられます。次いで84歳の4人でした。
このように日本人として数では少数派の鶏さんたちが幸多き1年であることを祈念して新年の挨拶したいと思います。もちろん他の干支の方々のご多幸をお祈りするのには吝かではありません。

平成29年元旦 丁酉

新年のご挨拶



医療法人 社団 都会
理事長 渡辺 康介



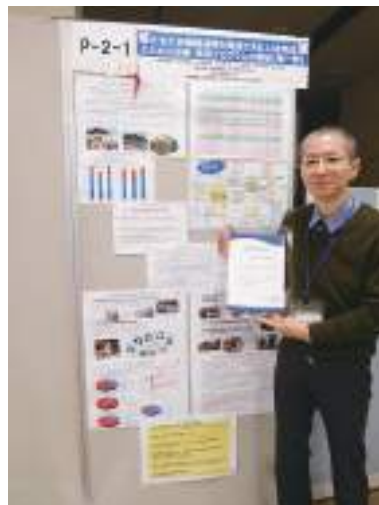
研修報告

渡辺西賀茂診療所

森山 文則

昨年11月27日に和歌山県立医科大学にて日本プライマリーケア連合学会近畿地方会が開催され、「在宅で多職種連携を実践できる人材育成のための研修・実習プログラムの構築」というテーマでポスター発表を行いました。日頃の都会での研修・実習の受け入れが評価され、優秀演題賞をいただきました。

在宅に関わるどんな職種の方がいらしたとしても、多職種連携やそのための情報共有と、その先にある利用者さんへのサービス向上を実感してもらえようという研修体制を皆様と共に作り上げていきたいと思います。



ワンポイント講座

杖の高さ調整のポイント

最近、杖を使って歩いている人を見かけることが多くなってきました。

ただ、たまに歩きにくそうに杖を使っている方を見かけることも少なくありません。基本的な「杖の高さ調整のポイント」を写真とあわせてご紹介。

【ちょうど良い高さの場合】

※杖を突く位置は、斜め前方(つま先から約15cm)

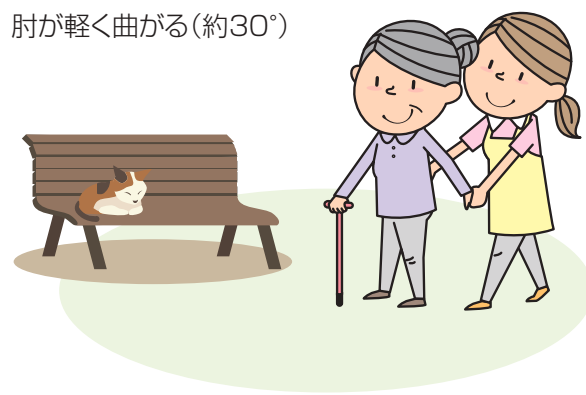


肘が軽く曲がる(約30°)



体が左右に傾かない

させて頂けます(姿勢によって多少合わせ方は異なります)。本人さんの使い心地も大切ですが、このポイントも参考にしてくださいと思います。



訪問リハビリより

クロスワード「答え」

1	ト	2	シ	ヤ	3	カル
4	ソ	ラ	5	ヨ	ル	タ
6	ハ	7	ゴ	イ	タ	
8	フ	9	マ	ゴ		
10	デ	ゾ	メ	シ	キ	

(ハマヤ、破魔矢)

モデルサム基金

善意の浄財を、皆様のより良い生活のお手伝いのためのボランティア活動に活用させていただきます。祝前弥一郎様、西村勝美様、松本雅行様、前田清様どうもありがとうございました。

認知症サポーター講座

ショートステイにしがも 藤井 洋 靖

「認知症サポーター」は、認知症サポーター養成講座を受講した人のことをいいます。平成28年9月末現在、全国で約800万人の人がこの講座を受講しています。「認知症サポーターキャラバン」と題してTVでも広告されていますので、お聞きになった方も多いと思います。

この「認知症サポーター」は何も特別なことをする訳ではなく、認知症を理解し、できることをお手伝いする。というものです。世間ではまだまだ「認知症の理解」という部分では十分ではない所があり、当法人でも地域の方に向けて講座を開講してきました。今年度は8月に、西賀茂大栗町の地蔵盆で、11月には西賀茂中学校の1年生を対象に講座を行い、予想以上の反響を頂

いております。十数年前までは「痴呆」とか「ボケ老人」という言葉が普通に使われていたましたが、認知症は「脳の病気」です。はたから見ると不思議な行動を取っているのかも知れませんが、当のご本人は生懸命です。認知症は一般的には70歳台に発症される方が多いと言われる

ていますが、ご利用者の中には若年性認知症の方もいらっしゃいます。今後更に増えることが予想されている認知症の方を支える為には、私達専門職の力だけでは足りませんので、行政も認知症サポーター養成講座を推奨しているのです。認知症の方を正しく理解し、地域の方と共に温かく支えること。そんな地域づくりの二環として私達は、今後も認知症サポーター講座を展開していきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。



第十回 都会メディカルケアシステム学会

平成28年11月13日

本年度も都会メディカルケアシステムの各事業所の代表者が、演題発表を行いました。各事業所の課題や取り組みを学びました。

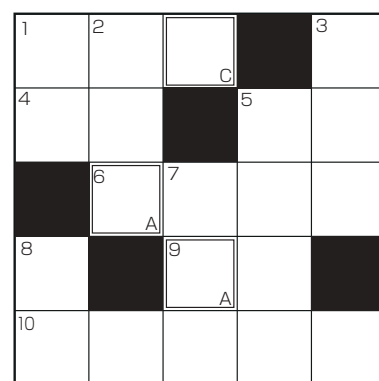


みその橋まつり



『クロスワード』

出題 小田 正



「問題」A～Dをつなぐと答えです

1 正月の酒は
2 ○○○の矢が立つ
3 百人一首も花札も
4 その一つ
5 たとえば大晦日を
6 眠らず…
7 田作りともいう
8 正月の食べ物
9 書き初めはこれで
10 肉太に…

〈たてのカギ〉

1 開けた三元旦
2 初日や雲の青い背景
3 紅白歌合戦は
4 ○○遅くまで
5 遊具・押し絵のものは
6 装飾品
7 祖父母から○○に
8 お年玉
9 消防士たちの
10 新年の行事

第4回 つるさんかめさんバザー&フリーマーケット

(28年11月23日)

4回目を迎えたつるさんかめさんのバザーも、たくさんの方々にお越しいただき大盛況のうちに無事に終了しました。バザー開催に際し、多数の寄贈品の提供ならびに、足を運んで下さった方など、ご協力していただいた皆様には心より御礼申し上げます。今回の収益は、モデルサム基金やご利用者の活動費に使わせていただきます。有難うございました。

